

知ってほしい「認知症」のこと

9月は「世界アルツハイマー月間」です

問い合わせ 地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4113）

認知症とは

詳しくはこちら▶
(認知症ガイドブック)

市ホームページ
ID.1004994



認知症とは、さまざまな原因で認知機能が低下し、日常生活や社会生活における支障が6カ月以上継続している状態を言います。認知症になると、すぐに物事を忘れてたり、考えるスピードが遅くなるなど、分からないことやできないことが増えていきます。特別な病気ではなく、誰にでも起こりうる脳の病気です。

5人に1人が発症する身近な病気

団塊の世代がすべて75歳以上となる、令和7年には、65歳以上の5人に1人が認知症を発症すると言われています。そのため、認知症になっても、誰もが安心して住み慣れた地域で過ごせるよう、認知症について正しく理解することがとても大切です。

不安や心配は、地域包括支援センターへ相談を

認知症は、早期発見と早期対応が大切です。「物忘れが増えた」「家族が認知症かもしれない」など気になることがあれば、地域包括支援センターへ相談してください。相談者に合わせた支援をするほか、介護を担う家族が感じる不安や困り事について相談に応じます。

地域包括支援センターの連絡先は市ホームページを確認するか、地域福祉課へ問い合わせください。

市ホームページ
ID.1004996



支える



世界アルツハイマーデー 世界アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会が、認知症への正しい理解を広めることを目的に、9月21日を「世界アルツハイマーデー」、毎年9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界中で認知症についての啓発活動を行っています。

帯広市でも、「世界アルツハイマー月間」に合わせ、認知症についての周知・啓発に取り組んでいます。この機会に、認知症について正しく理解し、学びを深めましょう。

認知症啓発パネル展

認知症に関する冊子の配布やパネルを展示。

期間 9月14日(水)～21日(水)

8時45分～19時（初日は12時から、最終日は15時まで。土・日曜日、祝日は10時～17時）

場所 市民ホール（市庁舎1階）

認知症関連図書特設コーナー

認知症に関する図書を集めたコーナーを設置。

期間 9月22日(木)～29日(木)

(26日(月)を除く)

10時～20時（土・日曜日、祝日は18時まで）

場所 図書館1階（西2南14）

令和3年の図書特設コーナーの様子▶



増えています 認知症サポーター



9月の開催情報は13頁を見てね。

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を見守る応援者です。養成講座では、具体的な症状や認知症の人との接し方などを学ぶことができます。

認知症の人の支えとなる、サポーターを増やしていくことで、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指しています。

市内の小・中学校や企業などでも講座を開催

令和2年度から「おびひろ市民学」の一環として、市内の小・中学校(学年限定)で認知症サポーター養成講座を開催し、2年間で延べ5386人の小・中学生が講座を受講しています。



▲帯広第二中学校で開催した様子

市内で活動する団体や企業へ講師を派遣し、講座を開催することも可能です。詳細は問い合わせください。講座の様子を紹介した動画もぜひご覧ください。

YouTube ▶

